

議事録

会議名称	長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム 第2回ミーティング		
開催日時	令和7年(2025年)3月13日 13:00~15:00	開催場所/ 方式	参集(県立長野図書館3階信州・学び創造ラボ)+WEB会議
出席者 (敬称略)	長野県図書館協会 林副会長、依田副会長、森理事長(県立長野図書館長)、林小中学校図書館部会長、倉澤啓(小中学校図書館部会長指名 木曾町立三岳小)、棟田聖子(公募 松川村図書館長)、文平玲子(公募 市立須坂図書館長)、米山美保(公募 長野市立松ヶ丘小) (以上、参集) 瀬下公共図書館部会長、武田佳代(大学図書館部会長指名 信州大)、原猛(長野県高等学校図書館協議会事務局長指名 赤穂高)、牧野優子(公募 飯田西中)、田中誠(県教委学びの改革支援課) (以上、WEB参加) (敬称略)		
ゴール(目的)	● 「図書館大会」に係る課題改善のための方策、アイデア出し		
アジェンダ	① アンケート結果について(概要。詳細については割愛) ② 今後の進め方について ③ 討論(今回は「図書館大会」に絞って討論) ④ 次回ミーティング 日程調整		

決定事項/To do

■決定事項

- 図書館大会におけるオンライン併用については、大会の目的や実行委員会の主体性を考慮しつつ併用の方向で検討を進め、予算捻出について、引き続き検討

■To do

- 次回ミーティングを令和7年5月頃開催。別途日程調整

【会議内容】

1. 開会

会長の体調不良により、副会長が進行を担当。

2. 資料説明(事務局)

アンケート概要、本日の議題、今後の進め方及びスケジュールの確認。

3. 討論

➤ オンラインの併用について

- ・ 今回は「図書館大会のあり方」に焦点を絞って討論する。課題として「持続可能な大会運営」「運営体制の改善」「開催手法の多様化と参加者の利便性向上」が挙げられている。特に「オンラインを併用するか否か」が大きな課題となっている。諏訪大会に向けて、オンラインの併用について話し合う。
- ・ アンケート結果を見ると「オンライン併用」がよいという意見が多い。
- ・ オンライン併用のメリットとして、参加者の利便性向上や持続可能な大会運営が挙げられる。
- ・ オンライン併用により、遠方からの参加が容易になり、参加者の負担が軽減される。
- ・ オンライン併用のデメリットとして、運営側の負担増加やコストの問題がある。
- ・ オンラインの環境が整っている会場ならよいが、図書館は人とつながるところなので、参集が望ましいという意見もある。

議事録

- ・ 遠方からの参加は距離が厳しいため、オンライン併用が望ましい。旅費が出ない場合や移動時間が確保できない場合もあるため、オンラインと参集の両方があるとありがたい。
 - ・ 全国の大会等ではオンライン併用が多かった。オンライン併用には予算が必要であり、その確保が課題となる。
 - ・ オンライン併用は運営側の負担が大きい。基調講演は録画配信がよいが、分科会は参集型が望ましいのではないか。
 - ・ 図書館大会の目的によって開催形態は変わる。参集とオンラインの両方を取り入れるハイブリッド開催が望ましい。
 - ・ オンライン併用にはWi-Fi環境が必要であり、会場によっては難しい場合がある。録画配信やサテライト会場の活用も検討すべき。
 - ・ オンライン併用のための技術サポートや予算確保が求められる。
 - ・ 図書館大会の予算は主に県教委と図書館協会からの30万円であり、講師謝礼に充てるとそででなくなってしまう。予算の増額を検討する必要がある。
- 今後の進め方について
- ・ 大会の目的や実行委員会の主体性を考慮しつつ、オンライン併用の方向で検討を進め、次回以降ミーティングで具体的な方策を議論する。
 - ・ 特に、オンライン併催する場合の図書館大会の予算増額を検討し、財源確保のための具体的な提案を行う。
 - ・ アンケート結果のフィードバックを図書館協会のホームページに掲載するなどして行う。
- 次回ミーティング
- ・ 令和7年5月頃開催予定。